レッスンガイド

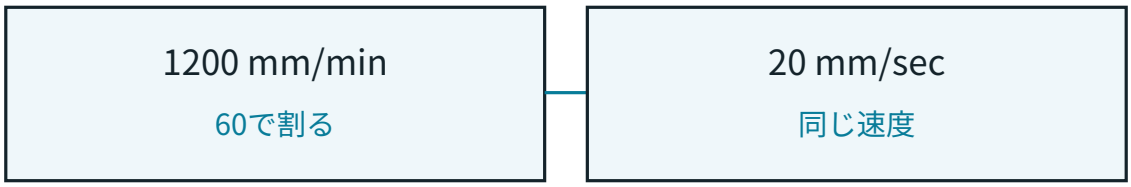
速度、パワー、パス

速度単位を正しく読み取り、指令パワーを設定し、繰り返しパスを確認します。

このガイドはAIで翻訳されています。重要な手順は英語の原文と照合してください。

未接続でのソフトウェア練習

機械なしを選択したまま、未接続の状態を維持します。プロジェクトには機械プロファイルがありません。ソフトウェアのプレビューに必要な場合は出力を有効にします。例の値は材料設定ではありません。各レッスンパックは専用フォルダーに保存してください。



正確な単位変換です。速度表示は変わりますが、要求される動作は変わりません。

1. このレッスンを専用フォルダーに展開します。**settings-start.lzrproj**を開き、Line操作を維持します。速度を**1200 mm/min**に設定して適用します。

2. Macでは**Cmd + comma**で**環境設定**を開くか、アプリのメニューから環境設定を選択します。**単位とグリッド**でミリメートルを維持し、**速度の時間単位**を秒に変更します。保存します。

3. **20 mm/sec**を確認します。速度の時間単位を分に戻し、環境設定を保存します。プロジェクトの速度はmm/minで保存されます。

4. レイヤーの**パワーを40%**、**パスを2**に設定します。パワーは指令値の割合であり、光学的なワット数ではありません。

5. 移動表示をオフにしてプレビューします。開始位置に移動し、4xで再生して長方形の周囲を2回通るパスを確認します。4x設定が変更するのは再生のみです。

6. プレビューを閉じ、自分の結果を保存して、**settings-finished.lzrproj**と比較します。

自主練習

自主練習

このレッスンのフォルダーから**settings-practice.lzrproj**を開きます。**900 mm/min、30%のパワー、3パス**に設定します。40 x 20 mmの長方形1つは変更しないでください。

□ 表示設定を変更する前に、mm/sec単位の速度を予測します。

□ 表示を秒に切り替えて結果を読み取り、その後分に戻します。

□ プレビューで繰り返しを確認し、別のコピーを保存して、settings-practice-answer.lzrprojと比較します。

900 mm/minは何mm/secですか？

プレビューには計画されたパスをいくつ表示する必要がありますか？

4x再生を選択すると何が変わりますか？

表示設定を元に戻す

速度の時間単位はアプリの環境設定です。解答プロジェクトを開いても、その環境設定は自動的にリセットされません。

解答の解説

解答の解説

練習問題の解答
900 mm/minは15 mm/secです。この操作では30%のパワーと3パスを使用します。

デモの解答
1200 mm/minは20 mm/secです。この操作では40%のパワーと2パスを使用します。

異なるコントロール
速度は経路に沿った動作を要求します。パワーは割合を要求します。パスは操作を繰り返します。これらのコントロールによって、完成した切断や特定の濃さが保証されるわけではありません。

settings-start.lzrproj
デモ用スターター：線、600 mm/min、20%、1パス。

settings-finished.lzrproj
デモの解答：線、1200 mm/min、40%、2パス。

settings-practice.lzrproj
900 / 30% / 3の課題用自主練習スターター。

settings-practice-answer.lzrproj
長方形の形状を変更していない自主練習の解答。

毎回、速度の横に表示された単位を使用してください。時間単位のない数値は、意図した値の60倍異なる場合があります。

Beam Bench 0.2.37の実演インターフェースに対応しています。後のバージョンではパネル配置が異なる場合があります。